

# 東急電鉄5000系

## 共通組み立て説明書

### 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

### 〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

〈お買い上げのお客様へ〉不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

◀電話受付先▶ バンダイお客様相談センター  
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル 0570-041-101

●受付時間 10時～17時(祝日・夏季・冬季休業日を除く)  
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

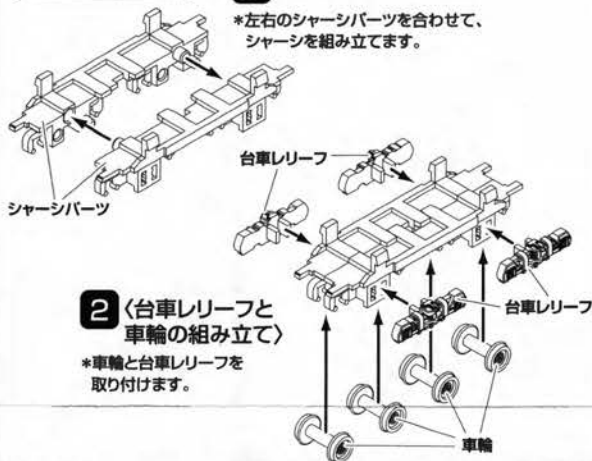
◀商品・修理品送付先▶ バンダイ 栃木修理・配送センター  
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日・夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

### シャーシの組立て

### 1 〈シャーシの組立〉

●左右のシャーシパーツを合わせて、シャーシを組み立てます。



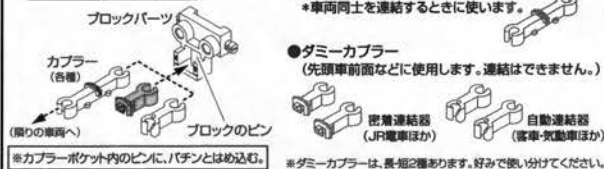
### 2 〈台車レリーフと車輪の組み立て〉

●車輪と台車レリーフを取り付けます。

### 台車レリーフの向きに注意。



### カプラーの取付け方



- ドローパー  
●車両同士を連結するときに使います。
- ダミーカプラー  
(先頭車前面などに使用します。連結はできません。)
- 密着連結器 (JR電車ほか)
- 自動連結器 (電車・気動車ほか)

●カプラーポケット内のピンに、パチンとはめ込む。 ●ダミーカプラーは、長短2種あります。好みに使い分けてください。

## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

●BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

### ①機関車への動力ユニットの取り付け

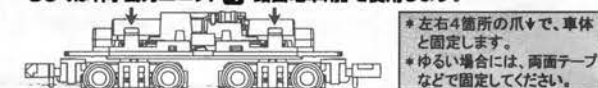
- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット①・機関車用」を使用します。
- 通常色(黒)と、グレーがあります。

●床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。

●EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振りりが充分にできません。直直運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

### ②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット②・電車・気動車用」もしくは「同 動力ユニット③・路面電車用」を使用します。



- 左右4箇所(爪)で、車体と固定します。
- ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

### ③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・走行台車④」を使用します。

●付属の床板パーツを使用して、走行台車をセンターピンに装着してください。

●取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。

●台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。

●旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

●台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。

●スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付けの場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。

●新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

●SGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)

●先頭車でスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用方法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

### ■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) ●EF64、DF50、DD53など、品番11-103 ポケットライン用動力ユニット ●別の低い車両に装着できません。

●11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

### ②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ 通勤電車① コイルパネ台車タイプ DT33タイプ
- 品番11-106 急行電車①: 空気パネ台車タイプ 103系など
- 品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ 急行電車① 空気パネ台車タイプ DT32タイプ
- 品番11-104 チビ客車用動力ユニット 165系など

- 「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを取り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る必要場合があります。)
- 品番11-099 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ 通勤電車② ポルスタレス台車タイプ DT61タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気パネ台車タイプ E231系など
- 品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

### ③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルパネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気パネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

### ■パンタグラフの交換

●お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

- KATO:11-401 PS14:直流/パンタグラフ グリーンマックス:80-2:PS13:直流/パンタグラフ
- KATO:11-403 PS22:直流/下枠空影形/パンタグラフ グリーンマックス:80-3:PT42:直流/パンタグラフ
- KATO:11-404, 11-420 PS16:直流/パンタグラフ グリーンマックス:80-5:PT43:直流/パンタグラフ
- 11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。 クロスポイント:PT71C:シングルアーム/パンタグラフ

このほか、取り付けピンが2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

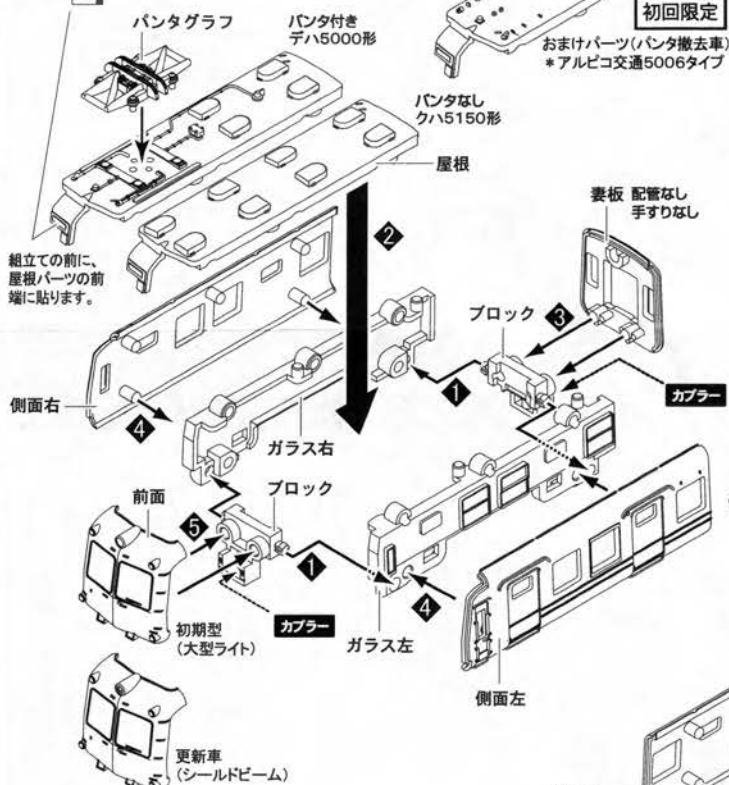
●各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが固い(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要な場合もあります。

●動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

# 先頭車

方向幕

瀬田  
08



# 車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。  
\*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。  
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。  
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。  
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。
- ⑦カプラーを最後にブロックのピンに取り付けます。



\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

本商品には、パンタグラフは1個のみ入っています。

\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。  
\*また生産の都合上、予備パーツが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

# ステッカーの貼付け位置

貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。  
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

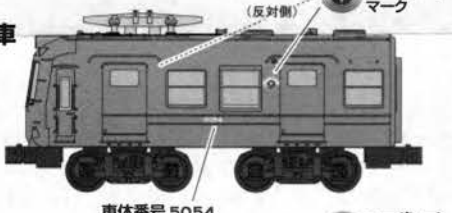
# 種別・方向幕

組立ての前に、屋根パーツの前端に貼ります。



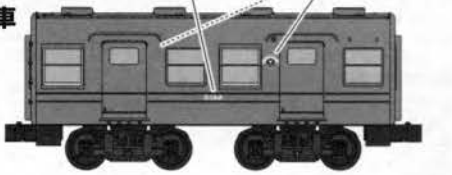
車体番号 5054

# 先頭車

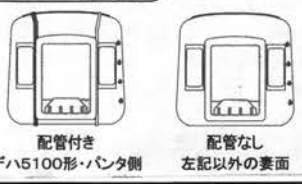


車体番号 5054  
車体番号 5368

# 中間車



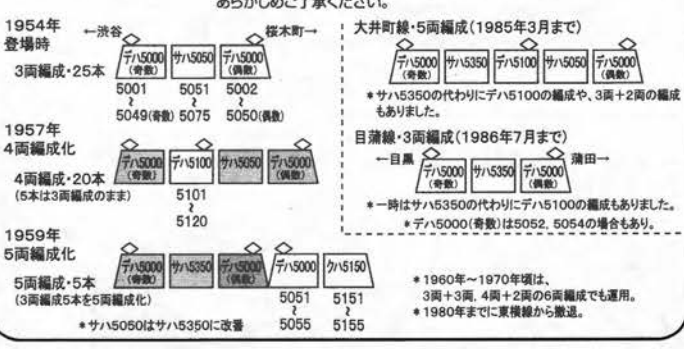
# 妻板について



- \* 5001~5004, 5351, 5352の6両は、ベンチレータの向きが逆になっています。
- \* 5001~5010, 5351~5356は、扉窓が大型のままです。
- \* 5024, 5034, 5047, 5048, 5052, 5055, 5104, 5105, 5109, 5120, 5360, 5369は、扉上の両種がありません。また、上記5024~5055の6両は、妻板に縦樋が設置されています。
- \* 5001~5030, 5351~5365は、更新時に戸袋窓にも縁が付けられました。

# 実車の編成例

\* 時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。  
\* 記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。



\* 1960年~1970年頃は、3両+3両、4両+2両の6両編成でも運用。  
\* 1980年までに東横線から撤退。

## 車体番号 ○は、形状が商品と適合する車両

9001	9001	9001	9047	9047	9047	○ 9054	9054	9054	○ 9031	9031	9031	○ 9101	9101
9101	9101		○ 9068	9068		9154	9154		○ 9020	9020	9020	9104	9104
9000	9000	9000	9034	9034	9034	○ 9090	9090	9090	○ 9040	9040	9040	9105	9105
									○ 9044	9044	9044	○ 9106	9106
9003	9003	9003	○ 9091	9091	9091	9055	9055	9055	○ 9092	9092	9092	9108	9108
9200	9200		9305	9305		9302	9302					○ 9112	9112
9004	9004	9004	9048	9048	9048	9034	9034	9034	9101	9101	9101	○ 9110	9110
									9102	9102	9102	○ 9117	9117
9005	9005	9005	9053	9053	9053	9006	9006	9006	9102	9102	9102	○ 9118	9118
9270	9270		○ 9270	9270		9017	9017	9017	9154	9154	9154	9100	9100
9006	9006	9006	9030	9030	9030	9018	9018	9018	9108	9108	9108		

## 方向幕 (屋根パーツの前面に貼ります)



旧前サボ

コーポレート